

令和元年度 決算状況(市区町村)

総務省

- 目次 -

都道府県名

千葉県

市区町村名 ページ

千葉市	2	鴨川市	22	多古町	42		
銚子市	3	鎌ヶ谷市	23	東庄町	43		
市川市	4	君津市	24	九十九里町	44		
船橋市	5	富津市	25	芝山町	45		
館山市	6	浦安市	26	横芝光町	46		
木更津市	7	四街道市	27	一宮町	47		
松戸市	8	袖ヶ浦市	28	睦沢町	48		
野田市	9	八街市	29	長生村	49		
茂原市	10	印西市	30	白子町	50		
成田市	11	白井市	31	長柄町	51		
佐倉市	12	富里市	32	長南町	52		
東金市	13	南房総市	33	大多喜町	53		
旭市	14	匝瑳市	34	御宿町	54		
習志野市	15	香取市	35	鋸南町	55		
柏市	16	山武市	36				
勝浦市	17	いすみ市	37				
市原市	18	大網白里市	38				
流山市	19	酒々井町	39				
八千代市	20	栄町	40				
我孫子市	21	神崎町	41				

[illegible]

2

令和元年度 決算状況				平成27年度国調 平成22年度国調		481,732人 473,919人		人 1.6%		人 57.45km ² 8,385人		区 分		住民基本台帳人口		うち日本人		産 業 構 造		都 道 府 県 名		団 体 名		市 町 村 類 型		Ⅳ-3			
				増 減 率		増 減 率		面 積 度		人 口 密 度		令 2. 1. 1		490,192人		472,316人		区 分		平成27年度調		平成22年度調		12		2033			
				第 1 次		第 2 次		第 3 次		1,259 0.6 36,404 17.9 165,420 81.5		1,243 0.6 35,824 17.6 166,583 81.8																	
歳 入 の 状 況 (単位：千円・%)				決 算 額		構 成 比		経 常 一 般 財 源 等		構 成 比		市 町 村 税 の 状 況 (単位：千円・%)		指 定 団 体 等 の 指 定 状 況		旧 新 産 業 構 造 指 数 表 連 定 一 般 職 員 等		取 入 歳 入 翌 年 度 支 実 績 状 況		総 額 引 差 取 引 支 出 金 額		160,876,215 155,886,858 4,989,357 2,371,797 2,617,560 -1,995,529 1,484,130 1,166,647 -		144,856,139 138,593,849 6,262,290 1,649,201 4,613,089 1,082,137 18,366 -					
区 分				決 算 額		構 成 比		経 常 一 般 財 源 等		構 成 比		区 分		取 入 済 額		構 成 比		超 過 課 税 分		旧 新 産 業 構 造 指 数 表 連 定 一 般 職 員 等		取 入 歳 入 翌 年 度 支 実 績 状 況		総 額 引 差 取 引 支 出 金 額		160,876,215 155,886,858 4,989,357 2,371,797 2,617,560 -1,995,529 1,484,130 1,166,647 -		144,856,139 138,593,849 6,262,290 1,649,201 4,613,089 1,082,137 18,366 -	
区 分				決 算 額		構 成 比		経 常 一 般 財 源 等		構 成 比		市 町 村 税 の 状 況 (単位：千円・%)		指 定 団 体 等 の 指 定 状 況		旧 新 産 業 構 造 指 数 表 連 定 一 般 職 員 等		取 入 歳 入 翌 年 度 支 実 績 状 況		総 額 引 差 取 引 支 出 金 額		160,876,215 155,886,858 4,989,357 2,371,797 2,617,560 -1,995,529 1,484,130 1,166,647 -		144,856,139 138,593,849 6,262,290 1,649,201 4,613,089 1,082,137 18,366 -					
区 分				決 算 額		構 成 比		経 常 一 般 財 源 等		構 成 比		市 町 村 税 の 状 況 (単位：千円・%)		指 定 団 体 等 の 指 定 状 況		旧 新 産 業 構 造 指 数 表 連 定 一 般 職 員 等		取 入 歳 入 翌 年 度 支 実 績 状 況		総 額 引 差 取 引 支 出 金 額		160,876,215 155,886,858 4,989,357 2,371,797 2,617,560 -1,995,529 1,484,130 1,166,647 -		144,856,139 138,593,849 6,262,290 1,649,201 4,613,089 1,082,137 18,366 -					
区 分				決 算 額		構 成 比		経 常 一 般 財 源 等		構 成 比		市 町 村 税 の 状 況 (単位：千円・%)		指 定 団 体 等 の 指 定 状 況		旧 新 産 業 構 造 指 数 表 連 定 一 般 職 員 等		取 入 歳 入 翌 年 度 支 実 績 状 況		総 額 引 差 取 引 支 出 金 額		160,876,215 155,886,858 4,989,357 2,371,797 2,617,560 -1,995,529 1,484,130 1,166,647 -		144,856,139 138,593,849 6,262,290 1,649,201 4,613,089 1,082,137 18,366 -					
区 分				決 算 額		構 成 比		経 常 一 般 財 源 等		構 成 比		市 町 村 税 の 状 況 (単位：千円・%)		指 定 団 体 等 の 指 定 状 況		旧 新 産 業 構 造 指 数 表 連 定 一 般 職 員 等		取 入 歳 入 翌 年 度 支 実 績 状 況		総 額 引 差 取 引 支 出 金 額		160,876,215 155,886,858 4,989,357 2,371,797 2,617,560 -1,995,529 1,484,130 1,166,647 -		144,856,139 138,593,849 6,262,290 1,649,201 4,613,089 1,082,137 18,366 -					
区 分				決 算 額		構 成 比		経 常 一 般 財 源 等		構 成 比		市 町 村 税 の 状 況 (単位：千円・%)		指 定 団 体 等 の 指 定 状 況		旧 新 産 業 構 造 指 数 表 連 定 一 般 職 員 等		取 入 歳 入 翌 年 度 支 実 績 状 況		総 額 引 差 取 引 支 出 金 額		160,876,215 155,886,858 4,989,357 2,371,797 2,617,560 -1,995,529 1,484,130 1,166,647 -		144,856,139 138,593,849 6,262,290 1,649,201 4,613,089 1,082,137 18,366 -					
区 分				決 算 額		構 成 比		経 常 一 般 財 源 等		構 成 比		市 町 村 税 の 状 況 (単位：千円・%)		指 定 団 体 等 の 指 定 状 況		旧 新 産 業 構 造 指 数 表 連 定 一 般 職 員 等		取 入 歳 入 翌 年 度 支 実 績 状 況		総 額 引 差 取 引 支 出 金 額		160,876,215 155,886,858 4,989,357 2,371,797 2,617,560 -1,995,529 1,484,130 1,166,647 -		144,856,139 138,593,849 6,262,290 1,649,201 4,613,089 1,082,137 18,366 -					
区 分				決 算 額		構 成 比		経 常 一 般 財 源 等		構 成 比		市 町 村 税 の 状 況 (単位：千円・%)		指 定 団 体 等 の 指 定 状 況		旧 新 産 業 構 造 指 数 表 連 定 一 般 職 員 等		取 入											

(注) 1. 普通電設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。

3. 産業構造の比率は母を就業人口総数とし、分額不能の産業を除いて算出。

4. 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

5. 面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都府県、全国の状態をとりまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」（国土地理院）による。

6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数がない又は人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。（その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。）

(注) 1. 普通建設事業費の補助事業費には委託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び委託事業費のうちの単独事業費を含む。
2. 東京都特別における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は母母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
4. 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
5. 面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況をとりとめた「全国都道府県市区町村別面積調」(国土地理院)による。
6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。)

令和元年度 決算状況				平成27年度調 平成22年度調		平成27年度調 平成22年度調		平成27年度調 平成22年度調		都道府県名		団体名		市町村類型		IV-3	
				人口増減率		人口増減率		人口増減率		12		2076					
				面積		面積		面積		千葉県		松戸市		地方交付税種地		1-6	
歳入の状況 (単位: 千円・%)																	
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		区分		令和元年度(千円)		平成30年度(千円)	
地方税				70,496,002	45.1		66,287,052	78.8						156,340,824		151,685,156	
地方交付金				818,701	0.5		818,701	1.0						150,134,908		145,800,104	
利子割交付金				58,928	0.0		58,928	0.1						6,205,916		5,885,052	
配当割交付金				409,974	0.3		409,974	0.5						442,758		279,996	
株式等譲渡所得割交付金				269,516	0.2		269,516	0.3						5,763,158		5,605,056	
分離課税所得割交付金				-	-		-	-						158,102		-896,816	
地方消費税交付金				7,876,799	5.0		7,876,799	9.4						1,335		707,750	
ゴルフ場利用税交付金				4,280	0.0		4,280	0.0						1,152		996	
特別地方消費税交付金				-	-		-	-						186,054		-188,070	
自動車取得税交付金				168,600	0.1		168,600	0.2						-25,465		-	
軽油引取税交付金				-	-		-	-						-		-	
自動車税環境性能割交付金				49,269	0.0		49,269	0.1						-		-	
地方特例交付金等				1,101,270	0.7		1,101,270	1.3						-		-	
内個人住民税減収補填特例交付金				455,475	0.3		455,475	0.5						-		-	
自動車税減収補填特例交付金				23,310	0.0		23,310	0.0						-		-	
軽自動車税減収補填特例交付金				3,802	0.0		3,802	0.0						-		-	
親子ども・子育て支援臨時交付金				618,683	0.4		618,683	0.7						-		-	
地方交付税				7,066,035	4.5		6,506,243	7.7						-		-	
内普通交付税				6,506,243	4.2		6,506,243	7.7						-		-	
特別交付税				541,593	0.3		-	-						-		-	
震災復興特別交付税				18,199	0.0		-	-						-		-	
(一般財源計)				88,319,374	56.5		83,550,632	99.3						-		-	
交通安全対策特別交付金				49,269	0.0		49,269	0.1						-		-	
分担金・負担金				1,286,812	0.8		-	-						-		-	
使用料				2,551,361	1.6		535,657	0.6						-		-	
手数料				1,023,434	0.7		-	-						-		-	
国庫支出金				31,969,700	20.4		-	-						-		-	
国有提供交付金				-	-		-	-						-		-	
(特別区財調交付金)				-	-		-	-						-		-	
都道府県支出金				10,633,104	6.8		-	-						-		-	
財産収入				519,654	0.3		-	-						-		-	
寄附金				47,810	0.0		-	-						-		-	
繰越金				1,267,207	0.8		-	-						-		-	
繰越金				5,885,052	3.8		-	-						-		-	
諸収入				2,450,347	1.6		11,815	0.0						-		-	
地方債				10,337,700	6.6		-	-						-		-	
うち減収補填債(特例分)				-	-		-	-						-		-	
うち臨時財政対策債				5													

(注) 1. 普通建設事業費の補助事業費には委託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び委託事業費のうちの単独事業費を含む。
2. 東京都特別における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は母母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
4. 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
5. 面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況をとりとめた「全国都道府県市区町村別面積調」(国土地理院)による。
6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。)

令和元年度 決算状況				区分		住民基本台帳人口		うち日本人		産業構造		都道府県名		団体名		市町村類型		IV-3	
平成27年度調 平成22年度調 増減率 面積 人口密度				153,583人 155,491人 -1.2%		令2.1.1 平31.1.1 増減率		154,373人 154,727人 -0.2%		150,988人 151,711人 -0.5%		平成27年度調 平成22年度調		12 千葉県		2084 野田市			
歳入の状況 (単位: 千円・%)				区分		平成27年度調 平成22年度調		第1次 第2次 第3次		1,410 2.1 18,780 27.3 48,572 70.6		1,530 2.2 19,287 27.5 49,400 70.4		区分		令和元年度(千円) 平成30年度(千円)		1-5	
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		市町村税の状況 (単位: 千円・%)		区分		令和元年度(千円) 平成30年度(千円)		1-5	
地方税				23,013,461	44.9	21,953,916		75.0							歳入総額		51,205,273	50,211,722	
地方交付金				396,820	0.8	396,820		1.4							歳入歳出総引		49,808,582	48,663,396	
利子割交付金				14,721	0.0	14,721		0.1							歳入歳出差引		1,396,691	1,548,326	
配当割交付金				102,486	0.2	102,486		0.3							翌年度に繰越すべき財源		177,038	211,467	
株式等譲渡所得割交付金				67,427	0.1	67,427		0.2							単年立取		1,219,653	1,336,859	
分離課税所得割交付金				-	-	-		-							積立償還金		-117,206	-764,714	
地方消費税交付金				2,715,412	5.3	2,715,412		9.3							歳入歳出差引		792,979	1,815,674	
ゴルフ場利用税交付金				165,583	0.3	165,583		0.6							歳入歳出差引		-	-	
特別地方消費税交付金				-	-	-		-							歳入歳出差引		770,000	-	
自動車取得税交付金				82,079	0.2	82,079		0.3							歳入歳出差引		-94,227	1,050,960	
軽油引取税交付金				-	-	-		-							歳入歳出差引		-	-	
自動車税環境性能割交付金				23,984	0.0	23,984		0.1							歳入歳出差引		-	-	
地方特例交付金等				392,214	0.8	392,214		1.3							歳入歳出差引		-	-	
内個人住民税減収補填交付金				157,093	0.3	157,093		0.5							歳入歳出差引		-	-	
自動車税減収補填交付金				11,347	0.0	11,347		0.0							歳入歳出差引		-	-	
軽自動車税減収補填交付金				3,196	0.0	3,196		0.0							歳入歳出差引		-	-	
親子ども・子育て支援臨時交付金				220,578	0.4	220,578		0.8							歳入歳出差引		-	-	
地方交付税				3,875,322	7.6	3,215,427		11.0							歳入歳出差引		-	-	
普通交付税				3,215,427	6.3	3,215,427		11.0							歳入歳出差引		-	-	
特別交付税				652,180	1.3	-		-							歳入歳出差引		-	-	
震災復興特別交付税				7,715	0.0	-		-							歳入歳出差引		-	-	
(一般財源計)				30,849,509	60.2	29,130,069		99.5							歳入歳出差引		-	-	
交通安全対策特別交付金				16,198	0.0	16,198		0.1							歳入歳出差引		-	-	
分担金・負担金				179,546	0.4	-		-							歳入歳出差引		-	-	
使費用				1,015,284	2.0	127,385		0.4							歳入歳出差引		-	-	
手数料				439,434	0.9	-		-							歳入歳出差引		-	-	
国庫支出金				7,360,378	14.4	-		-							歳入歳出差引		-	-</	

(注) 1. 普通道政事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
4. 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
5. 面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況をとりとめた「全国都道府県市区町村別面積調」（国土地理院）による。
6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。（その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。）

人	平成27年国調	172,739	人	区 分	住民基本台帳人口	うち日本人	産 業 構 造			都 道 府 県 名	団 体 名	市 町 村 類 型	IV-3
口	平成22年国調	172,183	%	令 2. 1. 1	175,045	171,374	区分	平成27年国調	平成22年国調	12	2122	地方交付税種地	1-5
増 減 率		0.3	%	平31. 1. 1	175,833	172,590	第 1 次	1,209	1,195				
面	積	103.69	km ²	増 減 率	-0.4	-0.7	第 2 次	1.6	1.6				
口 密 度		1,666	%					14,995	14,980	千葉県	佐倉市		
(単位：千円・%)													

(注) 1. 普通道庁事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は母数を就業人口総数とし、分額不能の産業を除いて算出。
4. 人口については、調査対象年度の10月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
5. 面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況ととりまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」（国土地理院）による。
6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員は1人又は2人の場合、「給付月額(円)」及び「1人当たり平均給付月額(円)」を「アスタリスク(*)」としている。（その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。）

(注) 1. 普通道設事業費の補助事業費には受託事業費のうち補助事業費を含み、単独事業費には施設他団体施行事業負担金及び受託事業費のうち施設事業費を含む。
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は分子を就業人口総数とし、分母は総額の産業を除いて算出。
4. 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
5. 面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況をとりまとめた『全国都道府県市区町村別面積調』（国土地理院）による。
6. 個人所得保障の観点から、対象となる職員が本人又は人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。)

(注) 1. 普通道設事業費の補助事業費には受託事業費のうち補助事業費を含み、単独事業費には施設他団体施行事業負担金及び受託事業費のうち施設事業費を含む。
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は分子を就業人口総数とし、分母は全額の産業を除いて算出。
4. 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
人口については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況をとりまとめた『全国都道府県市区町村別面積調』（国土地理院）による。
5. 個人情報保護の観点から、対象となる職員が法人又は人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)

[illegible]

18

(注) 1. 普通道庁事業費の補助事業費には受託事業費のうち補助事業費を含む。単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうち単独事業費を含む。
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
4. 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
5. 面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況をとりまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」(国土地理院)による。
6. 個人所得保障の観点から、対象としない職員が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アタリリスク(※)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。)

(注) 1. 普通電設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含む。単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。

3. 産業構造の比率は分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。

4. 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

5. 面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況をとりまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」（国土地理院）による。

6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」とする。（その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。）

23

令和元年度 決算状況				平成27年度 平成22年度 面人口密度		86,033 89,168 318.81 270		人 人 km ² 人		区分		住民基本台帳人口		うち日本人		産業構造		都道府県名		団体名		市町村類型		Ⅱ-2					
				増減率		-3.5%		%		令2.1.1 平31.1.1		83,885 84,811		82,872 83,881		人 人		区分		平成27年度 平成22年度		12 2254							
歳入の状況				(単位：千円・%)						令2.1.1 平31.1.1		83,885 84,811		82,872 83,881		人 人		第1次 第2次 第3次		1,606 3.9 12,192 29.4 27,680 66.7		1,649 3.9 13,015 31.1 27,228 65.0		千葉県 君津市		地方交付税種地		1-4	
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		市町村税の状況		(単位：千円・%)				指定団体等の 指定状況		旧新産業 旧工特 低開発 旧産業 山振 過疎 首近 中		歳入総額 歳入総差引 翌年度に繰越すべき財源 支実年度繰越収支 状況 繰上金償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支		35,736,738 32,932,119 3,344,619 1,489,513 1,855,106 234,185 3,000 -		33,624,446 31,737,409 1,887,037 266,116 1,620,921 240,297 1,205,445 -			
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		区分		収入済額		構成比		超過課税分		旧新産業 旧工特 低開発 旧産業 山振 過疎 首近 中		歳入総額 歳入総差引 翌年度に繰越すべき財源 支実年度繰越収支 状況 繰上金償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支		35,736,738 32,932,119 3,344,619 1,489,513 1,855,106 234,185 3,000 -		33,624,446 31,737,409 1,887,037 266,116 1,620,921 240,297 1,205,445 -			
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		区分		収入済額		構成比		超過課税分		旧新産業 旧工特 低開発 旧産業 山振 過疎 首近 中		歳入総額 歳入総差引 翌年度に繰越すべき財源 支実年度繰越収支 状況 繰上金償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支		35,736,738 32,932,119 3,344,619 1,489,513 1,855,106 234,185 3,000 -		33,624,446 31,737,409 1,887,037 266,116 1,620,921 240,297 1,205,445 -			
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		区分		収入済額		構成比		超過課税分		旧新産業 旧工特 低開発 旧産業 山振 過疎 首近 中		歳入総額 歳入総差引 翌年度に繰越すべき財源 支実年度繰越収支 状況 繰上金償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支		35,736,738 32,932,119 3,344,619 1,489,513 1,855,106 234,185 3,000 -		33,624,446 31,737,409 1,887,037 266,116 1,620,921 240,297 1,205,445 -			
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		区分		収入済額		構成比		超過課税分		旧新産業 旧工特 低開発 旧産業 山振 過疎 首近 中		歳入総額 歳入総差引 翌年度に繰越すべき財源 支実年度繰越収支 状況 繰上金償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支		35,736,738 32,932,119 3,344,619 1,489,513 1,855,106 234,185 3,000 -		33,624,446 31,737,409 1,887,037 266,116 1,620,921 240,297 1,205,445 -			
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		区分		収入済額		構成比		超過課税分		旧新産業 旧工特 低開発 旧産業 山振 過疎 首近 中		歳入総額 歳入総差引 翌年度に繰越すべき財源 支実年度繰越収支 状況 繰上金償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支		35,736,738 32,932,119 3,344,619 1,489,513 1,855,106 234,185 3,000 -		33,624,446 31,737,409 1,887,037 266,116 1,620,921 240,297 1,205,445 -			
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		区分		収入済額		構成比		超過課税分		旧新産業 旧工特 低開発 旧産業 山振 過疎 首近 中		歳入総額 歳入総差引 翌年度に繰越すべき財源 支実年度繰越収支 状況 繰上金償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支		35,736,738 32,932,119 3,344,619 1,489,513 1,855,106 234,185 3,000 -		33,624,446 31,737,409 1,887,037 266,116 1,620,921 240,297 1,205,445 -			
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		区分		収入済額		構成比		超過課税分		旧新産業 旧工特 低開発 旧産業 山振 過疎 首近 中		歳入総額 歳入総差引 翌年度に繰越すべき財源 支実年度繰越収支 状況 繰上金償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支		35,736,738 32,932,119 3,344,619 1,489,513 1,855,106 234,185 3,000 -		33,624,446 31,737,409 1,887,037 266,116 1,620,921 240,297 1,205,445 -			
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		区分		収入済額		構成比		超過課税分		旧新産業 旧工特 低開発 旧産業 山振 過疎 首近 中		歳入総額 歳入総差引 翌年度に繰越すべき財源 支実年度繰越収支 状況 繰上金償還金 積立金取崩し額 実質単年度収支		35,736,738 32,932,119 3,344,619 1,489,513 1,855,106 234,185 3,000 -		33,624,446 31,737,409 1,887,037 266,116 1,620,921 240,297 1,205,445 -			
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		区分		収入済額		構成比		超過課税分		旧新産業 旧工特 低開発 旧産業 山振 過疎 首近 中									

24

(注) 1. 普通電設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含む。単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。

3. 産業構造の比率は分母を就業人口総数とし、分額不能の産業を除いて算出。

4. 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

5. 面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状態をとりまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」（国土地理院）による。

6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。（その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。）

令和元年度 決算状況				平成27年度 平成28年度 増減率		人口 増減率		区分		住民基本台帳人口 うち日本人		産業構造 区分 平成27年度 平成28年度		都道府県名 団体名 12 千葉県 白井市		市町村 類型 II-3		
歳入の状況 (単位：千円・%)				平成27年度 平成28年度 増減率		人口 増減率		区分		住民基本台帳人口 うち日本人		産業構造 区分 平成27年度 平成28年度		都道府県名 団体名 12 千葉県 白井市		市町村 類型 II-3		
区分				決算額		構成比		經常一般財源等		構成比		区分		平成27年度 平成28年度 増減率		平成30年度(千円)		
地方税				9,281,979	44.7	8,730,994		77.4										
地方譲与税				151,263	0.7	151,263		1.3										
利子割交付金				7,216	0.0	7,216		0.1										
配当割交付金				50,101	0.2	50,101		0.4										
株式等譲渡所得割交付金				32,844	0.2	32,844		0.3										
分離課税所得割交付金				-	-	-		-										
地方消費税交付金				1,026,429	4.9	1,026,429		9.1										
ゴルフ場利用税交付金				23,258	0.1	23,258		0.2										
特別地方消費税交付金				-	-	-		-										
自動車取得税交付金				31,367	0.2	31,367		0.3										
軽油引取税交付金				-	-	-		-										
自動車税環境性能割交付金				9,165	0.0	9,165		0.1										
地方特例交付金等				180,637	0.9	180,637		1.6										
内国個人住民税減収補填特例交付金				75,531	0.4	75,531		0.7										
自動車税減収補填特例交付金				4,336	0.0	4,336		0.0										
軽自動車税減収補填特例交付金				894	0.0	894		0.0										
親子ども・子育て支援臨時交付金				99,876	0.5	99,876		0.9										
地方交付税				1,126,496	5.4	965,851		8.6										
内普通交付税				965,851	4.7	965,851		8.6										
特別交付税				160,542	0.8	-		-										
震災復興特別交付税				103	0.0	-		-										
(一般財源計)				11,920,755	57.5	11,209,125		99.3										
交通安全対策特別交付金				6,245	0.0	6,245		0.1										
分担金・負担金				426,166	2.1	5,536		0.0										
使費用				263,089	1.3	41,765		0.4										
手数料				40,053	0.2	102		0.0										
国庫支出金				2,861,780	13.8	-		-										
国有提供交付金				-	-	-		-										
(特別区財調交付金)				-	-	-		-										
都道府県支出金				1,199,937	5.8	-		-										
財産収入				42,629	0.2	3,241		0.0										
寄附金				65,371	0.3	-		-										
繰越金				1,042,486	5.0	-		-										
繰越収入				826,598	4.0	-		-										
諸収入				505,337	2.4	17,444		0.2										
地方債				1,541,754	7.4	-		-										
うち減収補填債(特例分)				-	-	-		-										
うち臨時財政対策債				744,354	3.6	-		-										
歳入合計				20,742,200	100.0	11,283,458		100.0										
性質別歳出の状況 (単位：千円・%)				平成27年度 平成28年度 増減率		人口 増減率		区分		住民基本台帳人口 うち日本人		産業構造 区分 平成27年度 平成28年度		都道府県名 団体名 12 千葉県 白井市		市町村 類型 II-3		
区分				決算額		構成比		經常一般財源等		構成比		区分		平成27年度 平成28年度 増減率		平成30年度(千円)		
人件費				2,866,190	14.5	2,706,505		23.9										
うち職員給費				2,144,795	10.9	1,993,835		-										
扶助費				4,748,256	24.0	1,367,435		11.4										
公債費				1,837,396	9.3	1,837,396		15.3										
内元利償還金				1,738,209	8.8	1,738,209		14.5										
元金				99,187	0.5	99,187		0.8										

[illegible]

32

令和元年度 決算状況				平成27年度国調 平成22年度国調		39,033人 42,104人 -7.3%		区分		住民基本台帳人口 うち日本人		産業構造		都道府県名		団体名		市町村類型		I-1	
歳入の状況(単位:千円・%)				平成27年度国調 平成22年度国調		230.12km ² 170人		令2.1.1 平31.1.1 増減率		37,684人 38,401人 -1.9%		区分 平成27年度国調 平成22年度国調		千葉県		南房総市		地方交付税種地		1-1	
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		第1次 第2次 第3次		12		2343					
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		第1次 第2次 第3次		12		2343					
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		第1次 第2次 第3次		12		2343					
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		第1次 第2次 第3次		12		2343					
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		第1次 第2次 第3次		12		2343					
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		第1次 第2次 第3次		12		2343					
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		第1次 第2次 第3次		12		2343					
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		第1次 第2次 第3次		12		2343					
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		第1次 第2次 第3次		12		2343					
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		第1次 第2次 第3次		12		2343					
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		第1次 第2次 第3次		12		2343					
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		第1次 第2次 第3次		12		2343					
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		第1次 第2次 第3次		12		2343					
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		第1次 第2次 第3次		12		2343					
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		第1次 第2次 第3次		12		2343					
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		第1次 第2次 第3次		12		2343					
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		第1次 第2次 第3次		12		2343					
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		第1次 第2次 第3次		12		2343					
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		第1次 第2次 第3次		12		2343					
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		第1次 第2次 第3次		12		2343					
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		第1次 第2次 第3次		12		2343					
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		第1次 第2次 第3次		12		2343					
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		第1次 第2次 第3次		12		2343					
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		第1次 第2次 第3次		12		2343					
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		第1次 第2次 第3次		12		2343					
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		第1次 第2次 第3次		12		2343					
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		第1次 第2次 第3次		12		2343					
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		第1次 第2次 第3次		12		2343					
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		第1次 第2次 第3次		12		2343					
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		第1次 第2次 第3次		12		2343					
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		第1次 第2次 第3次		12		2343					
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		第1次 第2次 第3次		12		2343					
区分				決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		第1次 第2次 第3次		12		234					

33

(注) 1. 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
4. 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
5. 面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況をとりとめた「全国都道府県市区町村別面積調」（国土地理院）による。
6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1又は2の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。（その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。）

(注) 1. 普通道庁事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は母数を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
4. 人口については、調査対象年度の10月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
5. 面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況を取りまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」（国土地理院）による。
6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「1人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。（その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。）

令和元年度 決算状況				人 口 面 積 人 口 密 度		平成27年度 平成22年度 増減率		38,594 40,962 -5.8 %		区 分		住民基本台帳人口 うち日本人		産業 構 造		都道府県名 団体名		市町村類型		I-1					
歳入の状況 (単位：千円・%)										令2.1.1 平31.1.1 増減率		37,665 38,242 -1.5 %		37,093 37,665 -1.5 %		区分 平成27年度調 平成22年度調		12 千葉県		2386 いすみ市		地方交付税種地 I-1			
区分		決算額		構成比		経常一般財源等		構成比		第1次		第2次		第3次		区分		令和元年度(千円)		平成30年度(千円)					
地方交付税										3,819,606		21.5		3,819,606		36.1		収入済額		17,770,444		18,198,191			
地方譲与税										228,280		1.3		228,280		2.2		指定団体等		16,678,421		17,257,848			
利子割交付金										2,747		0.0		2,747		0.0		旧工務課		1,092,023		940,343			
配当割交付金										19,061		0.1		19,061		0.2		旧工業課		458,956		233,967			
株式等譲渡所得割交付金										12,481		0.1		12,481		0.1		旧建設課		633,067		706,376			
分離課税所得割交付金										-		-		-		-		旧環境課		-73,309		-53,815			
地方消費税交付金										665,959		3.7		665,959		6.3		旧土木課		2,124		2,324			
ゴルフ場利用税交付金										39,850		0.2		39,850		0.4		旧土木課		-		-			
特別地方消費税交付金										-		-		-		-		旧土木課		290,308		549,825			
自動車取得税交付金										46,789		0.3		46,789		0.4		旧土木課		-361,493		-601,316			
軽油引取税交付金										-		-		-		-		旧土木課		-		-			
自動車税環境性能割交付金										13,671		0.1		13,671		0.1		旧土木課		-		-			
地方特例交付金等										108,734		0.6		108,734		1.0		旧土木課		316		1,019,862			
内個人住民税減収補填特例交付金										15,876		0.1		15,876		0.1		旧土木課		-		-			
自動車税減収補填特例交付金										6,469		0.0		6,469		0.1		旧土木課		16		47,400			
軽自動車税減収補填特例交付金										692		0.0		692		0.0		旧土木課		3		11,376			
子ども・子育て支援臨時交付金										85,697		0.5		85,697		0.8		旧土木課		-		-			
地方交付税										6,153,267		34.6		5,578,739		52.7		旧土木課		316		1,019,862			
内普通交付税										5,578,739		31.4		5,578,739		52.7		旧土木課		-		-			
特別交付税										574,455		3.2		-		-		旧土木課		-		-			
調整交付税										73		0.0		-		-		旧土木課		-		-			
(一般財源計)										11,110,445		62.5		10,535,917		99.5		旧土木課		-		-			
交通安全対策特別交付金										5,347		0.0		5,347		0.1		旧土木課		1		30.01.17			
分担金・負担金										160,799		0.9		3,546		0.0		旧土木課		1		30.01.17			
使用料										165,604		0.9		27,129		0.3		旧土木課		1		30.01.17			
手数料										157,566		0.9		-		-		旧土木課		1		22.12.01			
国庫支出金										1,639,771		9.2		-		-		旧土木課		16		22.12.01			
国有提供交付金										-		-		-		-		旧土木課		-		-			
(特別区財調交付金)										-		-		-		-		旧土木課		-		-			
都道府県支出金										1,024,463		5.8		-		-		旧土木課		-		-			
財産収入										44,873		0.3		12,855		0.1		旧土木課		-		-			
寄附金										385,165		2.2		-		-		旧土木課		-		-			
繰入金										576,414		3.2		-		-		旧土木課		-		-			
繰越金										580,343		3.3		-		-		旧土木課		-		-			
諸収入										379,754		2.1		91		0.0		旧土木課		-		-			
地方債										1,539,900		8.7		-		-		旧土木課		-		-			
うち減収補填債(特例分)										-		-		-		-		旧土木課		-		-			
うち臨時財政対策債										434,300		2.4		-		-		旧土木課		-		-			
歳入合計										17,770,444		100.0		10,584,885		100.0		旧土木課		-		-			
性質別歳出の状況 (単位：千円・%)										区 分		決算額 (千円)		構成比		(A)のうち 普通建設事業費		(A)のうち 充当一般財源等		基準財政収入額		3,878,783		3,866,660	
人件費										2,993,497		17.9		2,824,205		25.2		2,775,672		基準財政需要額		9,260,530		8,946,390	
うち職員給料										1,941,140		11.6		1,784,152		-		-		基準財政収入額等		4,882,818		4,867,544	
扶助費										2,384,245		14.3		639,605		5.8		-		標準財政規模		10,895,916		10,800,693	
公債費										1,854,137		11.1		1,831,318		16.6		-		財政力指数		0.43		0.43	
内元利償還金										1,710,654		10.3		1,690,821		15.3		-		実質収支比率(%)		5.8		6.5	
利子										143,483		0.9		140,497		1.3		-		公債費負担比率(%)		14.8		14.7	
一時借入金										-		-		-		-		-		判断実質赤字比率(%)		-		-	
(義務的経費計)										7,231,879		43.4		5,295,128		47.6		-		断全比実質公債費比率(%)		7.6		8.0	
物件費										2,730,734		16.4		1,975,221		13.0		-		率化将来負担比率(%)		37.4		45.9	
維持補修費										31,771		0.2		24,144		0.2		-		繰立財政調償的		4,336,104		4,264,288	
補助費等										2,571,986		15.4		2,326,902		18.8		-		現在高		10,705		10,700	
うち一部事務組合負担金										1,128,390		6.8		1,128,390		10.2		-		地方債現在高		3,275,318		3,139,336	
繰出金										1,691,838		10.1		1,307,741		11.4		-		地方法現		17,289,318		17,460,072	
繰立金										409,315		2.5		33,254		-		-		債務負担行為額(支出予定額)		2,446,101		1,970,941	
投資・出資金・貸付金										13,050		0.1		-		-		-		その他		-		-	
前年度繰上充用金										-		-		-		-		-		土地開発基金現在高		-		-	
投資的経費										1,997,848		12.0		318,921		2.9		-		徴収率(%)		97.6		90.9	
うち人件費										30,529		0.2		30,529		0.3		-		計		98.0		92.2	
普通建設事業費										1,878,822		11.3		229,612		2.1		-		市町村民税		97.0		98.0	
うち補助										416,253		2.5		13,197		0.1		-		純固定資産税		98.0		99.1	
うち単独										1,395,645		8.4		213,363		2.0		-		-		-		-	
災害復旧事業費										119,026		0.7		89,309		0.8		-		-		-		-	
失業対策事業費										-		-		-		-		-		-		-		-	
歳入合計										16,678,421		100.0		11,281,311		67.6		-		-		-		-	
経常経費充当一般財源等計										10,028,546		68.3		10,028,546		67.6		-		-		-		-	
経常収支比率										91.0%		(94.7%)		-		-		-		-		-		-	
(減収補填債(特例分)及び臨時財政対策債除く)										-		-		-		-		-		-		-		-	
歳入一般財源等										12,373,334		75.3		12,373,334		75.3		-		-		-		-	
出のその他										1,292,841		7.8		1,292,841		7.8		-		-		-		-	

(注) 1. 普通電設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は母を就業人口総数とし、分額不能の産業を除いて算出。
4. 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
5. 面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都府県、全国の状態をとりまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」（国土地理院）による。
6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数及び人は人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。（その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。）

人	平成 2 7 年国調	6,133	人
	平成 2 2 年国調	6,454	人
口	増 減 率	-5.0	%
面	積	19.90	km ²
人	口 密 度	308	人

(注) 1. 普通道庁事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は母数を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
4. 人口については、調査対象年度の10月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
5. 面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況ととりまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」（国土地理院）による。
6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員は1人又は2人の場合、「給付月額(円)」及び「1人当たり平均給付月額(円)」を「アスタリスク(*)」としている。（その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。）

(注) 1. 普通道庁事業費の補助事業費には受託事業費のうち補助事業費を含む。単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうち単独事業費を含む。
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は産業就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
4. 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
5. 面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況をとりまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」(国土地理院)による。
6. 個人所得保障の観点から、対象としない職員が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アタリタス(※)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。)

都 道 府 県 名	団 体 名	市 町 村 類 型	IV-2
12	4036		
千葉県	九十九里町	地 方 交 付 税 種 地	2-3

[illegible]

性 質 別 歳 出 の 状 況 (単位: 千円・%)						目 的 別 歳 出 の 状 況 (単位: 千円・%)						区 分		令和元年度(千円)	平成30年度(千円)
区 分		決 算 額	構 成 比	充 当 一 般 財 源 等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率	区 分		決 算 額	構 成 比	(A)のうち 普通建設事業費	(A)のうち 充当一般財源等	基 準 財 政 収 入 額	1,508,436	1,517,783
人	件	1,060,714	17.7	981,142	969,466	25.0	議 会 費	88,741	1.5	-	-	88,741	基 準 財 政 収 入 額	3,274,880	3,306,297
う	ち 職 員 結 費	649,197	10.8	573,926	-	-	総 務 費	887,708	14.8	2,110	778,511	778,511	標 準 税 収 入 額 等	1,897,841	1,908,791
扶	助 費	640,212	10.7	207,991	201,983	5.2	総 生 費	1,680,851	28.0	60,140	1,050,474	1,050,474	標 準 財 政 規 模	3,821,566	3,902,791
公	債 費	710,083	11.8	568,556	568,556	14.7	衛 生 費	920,221	15.3	5,068	597,590	597,590	準 財 政 指 数	0.46	0.45
内	元 利 償 還 金	649,909	10.8	535,959	535,959	13.8	勞 働 費	-	-	-	-	-	実 質 収 支 比 率 (%)	4.0	7.3
元	金 子	60,174	1.0	32,597	32,597	0.8	農 林 水 産 業 費	275,389	4.6	35,805	207,568	207,568	公 債 費 収 支 比 率 (%)	11.8	12.7
款	一 時 借 入 金 利 子	-	-	-	-	-	商 工 業 費	166,311	2.8	2,064	54,650	54,650	利 権 実 質 赤 字 比 率 (%)	-	-
(義 務 的 経 費 計)		2,411,009	40.2	1,787,689	1,740,005	44.9	消 防 費	211,853	3.5	122,980	150,766	150,766	断 続 実 質 赤 字 比 率 (%)	-	-
物	件 費	771,583	12.9	575,601	397,742	10.3	水 道 費	367,627	6.1	27,696	349,348	349,348	全 体 実 質 公 債 費 比 率 (%)	7.2	6.9
維	持 補 修 費	20,623	0.3	19,208	19,049	0.5	教 育 費	662,322	11.0	215,079	391,805	391,805	率 化 得 失 負 担 比 率 (%)	79.1	67.1
補	助 費 等	1,020,482	17.0	878,272	638,546	16.5	災 害 復 旧 費	29,346	0.5	-	20,901	20,901	積 立 金 高 調 償 債	908,229	1,111,593
う	ち 一 部 事 務 組 合 負 担 金	522,359	8.7	522,359	522,319	13.5	公 債 費	710,083	11.8	-	568,556	568,556	現 在 財 政 特 定 目 的 債	8,264	8,264
繰	出	803,878	13.4	662,388	605,634	15.6	請 支 出 金	216	0.0	-	216	216	地 方 債 現 在 高	1,486,608	1,292,354
積	立	419,999	7.0	173,605	-	-	歳 出 合 計	6,000,668	100.0	470,942	4,259,126	4,259,126	所 属 債 担 負 為 替 証 書 其 他 財 政 債 券 等 の 実 質 的 な も の	7,725,630	7,949,239
投	資 ・ 出 資 金 ・ 貸 付 金	52,806	0.9	-	-	-	繰 下 水 道 計 画 事 業 工 業 用 水 道 等 の 其 他	833,634	13.9	104,025	56,716	56,716	被 保 険 者 数 (人)	46,026	2,946
前	年 度 繰 上 充 用 金	-	-	-	-	-	経 常 収 支 比 率	104,025	1.7	29,540	216	216	保 険 料 (料 収 入 額)	86	325
投	資 的 経 費	500,288	8.3	192,363	経 常 経 費 充 当 一 般 財 源 等 計	3,400,976 千円	繰 入 一 般 財 源 等	170,513	2.8	529,340	325	325	保 險 給 付 費	1	1
う	ち 人 件 費	34,989	0.6	34,989	経 常 収 支 比 率	87.8 % (91.6 %)	繰 入 一 般 財 源 等	4,800,535 千円	繰 出 合 計	6,000,668	100.0	4,259,126	繰 出 合 計	6,000,668	100.0
内	普 通 建 設 事 業	470,942	7.8	171,462	経 常 収 支 比 率	87.8 % (91.6 %)	繰 入 一 般 財 源 等	4,800,535 千円	繰 出 合 計	6,000,668	100.0	4,259,126	繰 出 合 計	6,000,668	100.0
う	ち 補 助 費	215,142	3.6	5,602	経 常 収 支 比 率	87.8 % (91.6 %)	繰 入 一 般 財 源 等	4,800,535 千円	繰 出 合 計	6,000,668	100.0	4,259,126	繰 出 合 計	6,000,668	100.0
う	ち 単 独	243,188	4.1	158,148	(減 収 補 填 債 (特 例 分)	-	繰 入 一 般 財 源 等	4,800,535 千円	繰 出 合 計	6,000,668	100.0	4,259,126	繰 出 合 計	6,000,668	100.0
款	災 害 復 旧 事 業 費	29,346	0.5	20,901	及 び 臨 時 財 政 策 債 除 く)	-	繰 入 一 般 財 源 等	4,800,535 千円	繰 出 合 計	6,000,668	100.0	4,259,126	繰 出 合 計	6,000,668	100.0
失 業 対 策 事 業 費		-	-	-	歳 入 一 般 財 源 等	-	繰 入 一 般 財 源 等	4,800,535 千円	繰 出 合 計	6,000,668	100.0	4,259,126	繰 出 合 計	6,000,668	100.0
歳 出 合 計		6,000,668	100.0	4,259,126	4,800,535 千円	-	繰 入 一 般 財 源 等	4,800,535 千円	繰 出 合 計	6,000,668	100.0	4,259,126	繰 出 合 計	6,000,668	100.0

(A)のうち 普通建設事業費				(A)のうち 充当一般財源等				基 準 財 政 収 入 額		1,508,436	1,517,783
費 用 差 引 収 入 支	66,716	1.1	-	費 用 差 引 収 入 支	66,716	1.1	-	基 準 財 政 収 入 額	3,274,880	3,306,297	
再 入 世 帯 数 (世 帯)	2,946	0.0	-	再 入 世 帯 数 (世 帯)	2,946	0.0	-	基 準 財 政 収 入 額	3,274,880	3,306,297	
被 保 険 者 数 (人)	4,637	0.0	-	被 保 険 者 数 (人)	4,637	0.0	-	基 準 財 政 収 入 額	3,274,880	3,306,297	
被 保 険 者 数 (人)	86	0.0	-	被 保 険 者 数 (人)	86	0.0	-	基 準 財 政 収 入 額	3,274,880	3,306,297	
保 険 料 (料 収 入 額)	325	0.0	-	保 険 料 (料 収 入 額)	325	0.0	-	基 準 財 政 収 入 額	3,274,880	3,306,297	
保 險 給 付 費	1	0.0	-	保 險 給 付 費	1	0.0	-	基 準 財 政 収 入 額	3,274,880	3,306,297	

微 収 現 計				市 町 村 民 税				97.6		89.9	97.6	88.4
率 (%)	1	0.0	-	率 (%)	1	0.0	-	市 町 村 民 税	97.8	90.1	98.0	88.4
率 (%)	1	0.0	-	率 (%)	1	0.0	-	市 町 村 民 税	97.8	90.1	98.0	88.4
率 (%)	1	0.0	-	率 (%)	1	0.0	-	市 町 村 民 税	97.8	90.1	98.0	88.4

- (注) 1. 産業構造事業費の補助事業費には産業事業費のうち補助事業費を含む。単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうち単独事業費を含む。
2. 東京都特別区における基礎財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
3. 産業構造における母体は就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
4. 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
5. 面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状態をとりまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」（国土院）による。
6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数又は又は2人の場合、「給付月額(百円)」及び「一人当たり平均給付月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。)

令和元年度 決算状況				平成27年度 平成22年度 増減率 人口密度		区分 令2.1.1 平31.1.1 増減率		住民基本台帳人口 12,480人 12,490人 -0.1%		うち日本人 12,244人 12,278人 -0.3%		産業構造 区分 平成27年度 平成22年度		都道府県名 12 千葉県		団体名 4214 一宮町		市町村類型 地方交付税種地		Ⅲ-2 2-3		
歳入の状況 (単位：千円・%)				歳入の状況 (単位：千円・%)		歳入の状況 (単位：千円・%)		歳入の状況 (単位：千円・%)		歳入の状況 (単位：千円・%)		歳入の状況 (単位：千円・%)		歳入の状況 (単位：千円・%)		歳入の状況 (単位：千円・%)		歳入の状況 (単位：千円・%)		歳入の状況 (単位：千円・%)		
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	決算額	構成比
地方譲与税	1,472,701	28.4	1,472,701	50.1	地方譲与税	1,472,701	28.4	1,472,701	50.1	地方譲与税	1,472,701	28.4	1,472,701	50.1	地方譲与税	1,472,701	28.4	1,472,701	50.1	地方譲与税	1,472,701	28.4
地方交付金	64,555	1.2	64,555	2.2	地方交付金	64,555	1.2	64,555	2.2	地方交付金	64,555	1.2	64,555	2.2	地方交付金	64,555	1.2	64,555	2.2	地方交付金	64,555	1.2
利子割交付金	1,047	0.0	1,047	0.0	利子割交付金	1,047	0.0	1,047	0.0	利子割交付金	1,047	0.0	1,047	0.0	利子割交付金	1,047	0.0	1,047	0.0	利子割交付金	1,047	0.0
配当割交付金	7,302	0.1	7,302	0.2	配当割交付金	7,302	0.1	7,302	0.2	配当割交付金	7,302	0.1	7,302	0.2	配当割交付金	7,302	0.1	7,302	0.2	配当割交付金	7,302	0.1
株式等譲渡所得割交付金	4,813	0.1	4,813	0.2	株式等譲渡所得割交付金	4,813	0.1	4,813	0.2	株式等譲渡所得割交付金	4,813	0.1	4,813	0.2	株式等譲渡所得割交付金	4,813	0.1	4,813	0.2	株式等譲渡所得割交付金	4,813	0.1
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	分離課税所得割交付金	-	-	-	-	分離課税所得割交付金	-	-	-	-	分離課税所得割交付金	-	-	-	-	分離課税所得割交付金	-	-
地方消費税交付金	193,873	3.7	193,873	6.6	地方消費税交付金	193,873	3.7	193,873	6.6	地方消費税交付金	193,873	3.7	193,873	6.6	地方消費税交付金	193,873	3.7	193,873	6.6	地方消費税交付金	193,873	3.7
ゴルフ場利用税交付金	16,619	0.3	16,619	0.6	ゴルフ場利用税交付金	16,619	0.3	16,619	0.6	ゴルフ場利用税交付金	16,619	0.3	16,619	0.6	ゴルフ場利用税交付金	16,619	0.3	16,619	0.6	ゴルフ場利用税交付金	16,619	0.3
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	特別地方消費税交付金	-	-	-	-	特別地方消費税交付金	-	-	-	-	特別地方消費税交付金	-	-	-	-	特別地方消費税交付金	-	-
自動車取得税交付金	13,443	0.3	13,443	0.5	自動車取得税交付金	13,443	0.3	13,443	0.5	自動車取得税交付金	13,443	0.3	13,443	0.5	自動車取得税交付金	13,443	0.3	13,443	0.5	自動車取得税交付金	13,443	0.3
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽油引取税交付金	-	-
自動車税環境性能割交付金	3,927	0.1	3,927	0.1	自動車税環境性能割交付金	3,927	0.1	3,927	0.1	自動車税環境性能割交付金	3,927	0.1	3,927	0.1	自動車税環境性能割交付金	3,927	0.1	3,927	0.1	自動車税環境性能割交付金	3,927	0.1
地方特例交付金等	33,473	0.6	33,473	1.1	地方特例交付金等	33,473	0.6	33,473	1.1	地方特例交付金等	33,473	0.6	33,473	1.1	地方特例交付金等	33,473	0.6	33,473	1.1	地方特例交付金等	33,473	0.6
内個人住民税減収補填交付金	10,380	0.2	10,380	0.4	内個人住民税減収補填交付金	10,380	0.2	10,380	0.4	内個人住民税減収補填交付金	10,380	0.2	10,380	0.4	内個人住民税減収補填交付金	10,380	0.2	10,380	0.4	内個人住民税減収補填交付金	10,380	0.2
自動車税減収補填交付金	1,857	0.0	1,857	0.1																		

47

(注) 1. 普通道設事業費の補助事業費には受託事業費のうち補助事業費を含み、単独事業費には施設他団体施行事業負担金及び受託事業費のうち施設他事業費を含む。
2. 東京都特別区における基幹財政収入額及び基幹財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基幹財政需要額及び基幹財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
4. 人口については、調査対象年度の10月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
5. 面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状態をとりまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」（国土地理院）による。
6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。（その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている）

(注) 1. 普通電設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含む。単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。

3. 産業構造の比率は母母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。

4. 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

5. 面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の実況をとりまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」（国土地理院）による。

6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が人又は人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」とする。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。)

52

(注) 1. 普通道庁事業費の補助事業費には受託事業費のうち補助事業費を含む。単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうち単独事業費を含む。
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
4. 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
5. 面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況をとりまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」(国土地理院)による。
6. 個人所得保障の観点から、対象としない職員が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アタリタス(※)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。)

(注) 1. 普通電設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。

3. 産業構造の比率は分母を就業人口総数とし、分額不能の産業を除いて算出。

4. 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

5. 面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状態をとりまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」（国土地理院）による。

6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。（その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。）

